

昨年10月に発行した「羅針盤」で、高大接続改革について社会の変化に対応したものであることをお知らせしました。今回は、そのことについて、さらに考えさせられる機会がありましたのでお伝えしていきたいと思えます。ある難関国立大学の先生の悩みです。「レポートを課すことはやめた。なぜならネットからコピーペーストした『盗作作品』を多数読まされることになるから。」「本学の学生は世間からは優秀と見られているが、その優秀とは、必要な知識を要領よく暗記する能力であり、自らの考えを展開し的確に発信するという力には恵まれていない。」また、地元の国立大学の先生も、「お互いを批判し合う質疑応答に慣れておらず、空気を読み合って批判しない。」という悩みを話されました。

大学生の現状を指摘され、高等学校としてどのように対応しなければならないのかを、改めて考えさせられました。これは、高大接続改革を待つまでもなく、すぐに対応しなければならない課題であると感じたからです。確かに、生徒たちの様子を見てみると、様々な課題に対して「あまり深く考えていないな」と感じさせられることがあります。例えば、課題研究ならば、深く考えることよりも、提出することを優先しているのではないかと、と思わされる場合があります。あまり考えていない研究では、ポスター発表の際に質問が出されても答えることができません。すると、お互いに答えられない状況は避けたいので、質問もしない。という状況に陥ります。先ほど挙げました大学生が抱える問題点と重なってしまいます。

高校での学びには、ほとんどの場合、ただ一つの正解がありますから、その正解にたどり着けるか否かが学力評価に直結します。しかし、大学では「何が正解なのかわからない」課題に取り組まなければなりません。こうした課題に取り組むために求められる能力として、「知識を活用する能力」があげられています。ある場面で獲得した知識を、別の場面で活用するという能力です。それは、「似た問題が出たら活用する」ということではなく、一見すると、何の関わりもないようなことを結びつけて考えるということです。言うまでもなく、現在取り組んでいる課題に対して深く考えなければ、別の場面でその経験を生かすことはできません。そして、常に深く考え、以前に考えたことから現在の課題を解決するヒントを引き出すという習慣を身に付けなければならないということでもあります。習慣は技術とは違い、すぐに身に付けることはできません。一方で、性格とも異なり、努力によって変えることができるものです。是非、考える習慣、自分が考えたことの蓄積を活用する習慣をつけてもらいたいと考えます。

私たち教員もこれまでとは発想を変えて、答えを出すことだけを目的とせず、その過程で考えることを目的とする教材を開発しなければなりません。すぐにはできないかもしれませんが、習慣として身に付けていきたいと考えています。生徒も教員も、未知の正解に向けて切磋琢磨していきたいと考えます。

3月までの主な進路行事

「進路シラバス(保護者版)」の各学年欄も御覧ください。

- 1/28(日) 2年 駿台高2東大レベル模試(公開会場)(3月に解説講義があります。)
- 2/10(土) 11(日) 2年 模試(進研マーク5教科)
- 2/22(木)~28(水) 学年末考査
- 2/25(土)~ 国公立大学2次試験(前期日程)
- 3/1(水) 卒業式
- 3/2(金)~7(水) キャリアウィーク
- 3/3(土) 土曜セミナー、卒業生懇談会
- 3/6(火) 2限授業後、入試会場準備
- 3/7(水) 代休(定時制前期入試)
- 3/8(水)~10(土) 家庭学習(全日制入試)
- 3/8(水)~ 公立大学2次試験(中期日程)
- 3/12(日)~ 国公立大学2次試験(後期日程)
- 春季休業中 1年 大学学部・学科研究、学問研究
- (3/21(水)~4/6(金) 2年 2次試験問題研究
- ただし、4/5(木)は出校日)

1年生

<文型・理型の類型選択を行いました>

1年生最大の進路選択となる「類型選択」を行いました。生徒の夢や目標を聞き、また適性を見極めながら、保護者の方と一体となって選択できたものと考えています。ありがとうございました。今後は類型に基づいた、より具体的な進路目標を定めていきます。ぜひ目標を高く掲げさせてください。

<学年末考査が近づいてきました>

2月22日(木)～28日(水)に学年末考査が実施されます。3学期は定期考査が1回きりです。範囲も広きにわたります。寒い冬ではありますが、マラソンのように、勉強でも継続していくと体力がついてきます。計画的に学習を進めて、達成感を得、成長しましょう。

<進路SLをすすめています>

センター試験の問題(数学・英語の一部)を解きました。「できた、できない」とさまざまな反応でしたが、「こんなに1年生で習ったことが出るとは思わなかった。復習したい。」という感想がありました。その通りです。1年生の内容は1年生のうちにマスターしておいてください。30日には、「学部・学科」を調べ、共有する時間を持ちます。同じような学科名でも学ぶ内容が違うこともあります。進学先で何を学ぶのか自分で調べ、自分に合った進路を選択してもらいたいです。春季休業中には「学部・学科大研究」「研究論文」など、より詳しい内容を研究する進路課題も予定しています。自分で進路を切り開く積極性を身に付けましょう。

2年生

<学習合宿>

今年度も恒例の2年学習合宿を12月24日(日)から3泊4日の日程で行いました。世の中はクリスマスや年末で慌ただしい中でしたが、都会から離れた田原市の伊良湖シーパーク&スパは伊勢湾を一望できる落ち着いた絶好のロケーションで、303名の参加生徒は皆集中して1日10時間の学習に取り組むことができました。合宿2日目の25日(月)には、杉山校長先生が激励に来てくださり、理型生徒対象の化学特別講義も実施されました。本校では2年生3学期を「3年0学期」と位置づけており、国・数・英の基礎力を完成させることを目指しながら、受験生になるための意識や学習体力を養う期間としています。この合宿を「3年0学期」の好スタートを切るよいきっかけとし、来年度の志望校合格に向けて努力を継続してほしいと思います。



校長先生の特別講義

<課題研究>

4月から班ごとにテーマを設定して行ってきた課題研究ですが、各班とも2学期のうちに実験データを取り終え、3学期は考察をまとめながらポスターを作成しています。研究の成果は3月13日(火)に校内で発表し、先輩として1年生に対して研究の指針を示すことができると良いと思います。完成まで、あともう少しです。最後まで頑張りましょう。

3年生

<大学入試センター試験>

愛知県立大学、愛知工業大学を会場に、1月13日、14日の2日間で実施された大学入試センター試験を受験しました。前日に校内で行われた激励会では、先生たちのコントや寸劇で緊張をほぐしました。積雪に見舞われた昨年とは打って変わって好天に恵まれた当日も、校長先生や教頭先生から激励の言葉をいただいた後、メッセージ入りの合格飴とキットカットを受け取り、力強い足取りで試験会場へと入って行きました。きっと3年間の努力の成果を存分に発揮してくれたことと思います。

<センター試験後の特別講座、小論文指導>

センター試験の自己採点結果に基づいて面談を行い、国公立大学の出願先を決定しました。3年学年団全員で一人一人の可能性を検討し、ベストの出願ができたものと確信しています。本校生徒が目指す多くの大学では、センター試験の配点よりも個別試験の配点の方が高いため、ここからが本当の戦いです。2次試験に向けて、志望校合格に向けた特別講座や小論文指導も用意しました。豊田西高校は最後まで学力アップのサポートをしていきます。センター試験が終わって一息つきたいところですが、集中力を切らさず最後まで頑張ってください。現役生はこの時期が最も力を伸ばすときです。学校を最大限に活用して仲間と共に勉強し、合格を勝ち取ってください。御家庭におかれましても、これから行われる入学試験に向けて前向きに接していただきたいと思います。温かい御支援をお願いいたします。



青空に負けない明るい表情でした。



今年のメッセージです。